

履修区分	単位数	レポート提出回数	義務時数	試験回数
選択	2	6	2	2
教科書			学習書・副教材等	
新数学A（東京書籍）			ニューファースト数学A（東京書籍）	
グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。			
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクーリング)を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。			
学 習 目 標				
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。				
学 習 内 容				
(前期試験範囲)				
1章 場合の数と確率				
1節 場合の数		(第1, 2回レポート)		
2節 確率		(第2, 3回レポート)		
(後期試験範囲)				
3章 数学と人間の活動				
1節 数や位置を表す		(第4回レポート)		
2節 数のつくりを調べる		(第5, 6回レポート)		
3節 はかる		(第6回レポート)		
4節 数学で遊ぶ				
学 習 方 法				
・レポート レポートの問題は、教科書の例題、ステップノートの問題を中心に作っております。計算過程は残しておいてください。期限内に提出できるように計画的に学習を進めましょう。 ・スクーリング 教科書の内容を、レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。義務時数に関わらず、積極的に出席し理解を深めましょう。 ・定期考査 前期、後期それぞれ1回ずつ実施します。				

評 価 方 法		
レポートの提出状況，スクーリングの出席状況，定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 ・事象を数学化したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ・数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
担 当 者 よ り 一 言		
教科書やニューファーストを活用しながら，理解を深めてください。レポートは，答えだけをかくのではなく，計算過程をしっかりとかいてください。（かいていないと減点になることもあります。）提出期限に間に合うように，計画的に学習してください。		